

平成 24 年度

野生生物の生物学的知見研究、基盤的研究及びその他の関連研究課題一覧

(敬称略)

区分 番号	代表研究者	所属	研究課題名
野生生物の生物学的知見研究			
野生 1	征矢野 清	長崎大学大学院	ボラ・マハゼ・二枚貝を用いた日本沿岸域における底質蓄積性化学物質の生物影響の解明
野生 2	石塚真由美	北海道大学大学院	野生の歩哨動物 <i>Rattus sp.</i> を用いた環境化学物質による野生動物のゲノム・ストレスと適応の検証
基盤的研究			
基盤 1	大迫誠一郎	東京大学 医学系研究科	化学物質誘発性のエピジェネティック修飾による DOHaD モデルの検証
基盤 2	古賀 実	熊本県立大学 環境共生学部	無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とその発生メカニズム
基盤 3	田中嘉成	国立環境研究所 環境リスク研究 センター	改良型ミジンコ繁殖毒性試験を用いた新たな数理生態学的解析手法の検討
基盤 4	鯉淵典之	群馬大学大学院 医学系研究科	多動性に関わる内分泌系因子の同定とかく乱物質の影響に関する研究
基盤 5	井上博紀	酪農学園大学	易代謝性化学物質の体内動態と次世代への影響に関する研究
基盤 6	小川園子	筑波大学大学院	内分泌かく乱作用を持つ化学物質の行動影響評価とその脳内作用機序解析に関する基盤研究
基盤 7	柏木昭彦	広島大学	ツメガエル変態アッセイを用いた甲状腺ホルモンかく乱化学物質のスクリーニングシステム開発
基盤 8	仲山 慶	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	医薬品等糖質コルチコイド様物質による環境汚染レベルの把握と生態影響評価
その他の関連研究			
その他 1	田辺信介	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	生物蓄積性内分泌かく乱候補物質によるわが国の野生生物汚染の実態解明
その他 2	井口泰泉	自然科学研究機構 基礎生物学 研究所	ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解析